

早稲田大学 文学部
2023年度 入試問題の訂正内容

<学士入試 アジア史コース>

【専門科目】

●問題冊子1ページ : 問題②(問題3つ目)

(誤)

問題②

(正)

問題③

以上

二〇二三年度 早稲田大学文学部 学士入学試験問題
アジア史 コース
※解答は別紙(縦横書)
【科目名】 専門科目

次の『史記』卷一〇二張敖之列伝の文を読み、問題①～③に答えなさい。

張廷尉釋之者、堵陽人也、字季。有兄仲同居。以訾爲騎郎、事孝文帝、十歲不得調、無所知名。釋之曰「久宦減仲之產、不遂」。欲自免歸。中郎將袁盎知其賢、惜其去、乃請從釋之補謁者。釋之既朝畢、因前言便宜事。文帝曰「卑之、毋甚高論、令今可施行也」。於是釋之言秦漢之閒事、秦所以失而漢所以興者久之。文帝稱善、乃拜釋之爲謁者僕射。

釋之從行、登虎圈。上問上林尉諸禽獸簿、十餘問、尉左右視、盡不能對。虎圈畜夫從旁代尉對上所問禽獸簿甚悉、欲以觀其能口對響應無窮者。文帝曰「吏不當若是邪。尉無賴」。乃詔釋之拜畜夫爲上林令。釋之久之前曰「陛下以絳侯周勃何如人也」。上曰「長者也」。又復問「東陽侯張敖如何如人也」。上復曰「長者」。釋之曰「夫絳侯・東陽侯稱爲長者、此兩人言事曾不能出口、豈數此畜夫謀謀利口捷給哉。且秦以任刀筆之吏、吏爭以亟疾苛察相高、然其敝徒文具耳、無惻隱之實。以故不聞其過、陵遲而至於二世、天下土崩。今陛下以畜夫口辯而超遷之、臣恐天下隨風靡靡、爭爲口辯而無其實。且下之化上疾於景響、舉錯不可不審也」。文帝曰「善」。乃止不拜畜夫。

【問題①】 第一段落の傍線部を書き下し文にしなさい。

【問題②】 第二段落の内容を三〇〇字以内で要約しなさい。

【問題③】 秦漢時代の出土文字資料について、具体的に史料名を挙げながら、二〇〇字以上、四〇〇字以内で、できるだけ詳細にその内容を紹介せよ。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

学士入学試験 解答用紙

【 アジア史 コース 】

【 科目名： 専門科目 】

総 点

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

(裏へ続く)

———
ここから記入すること
———

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——